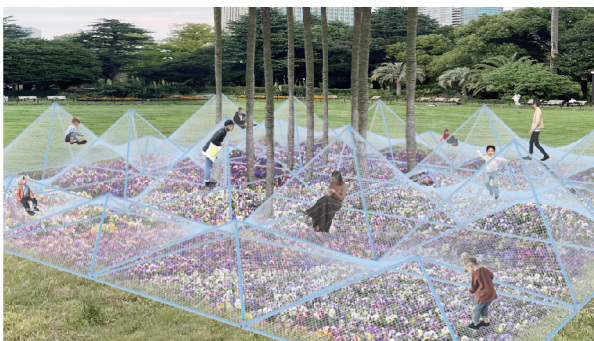


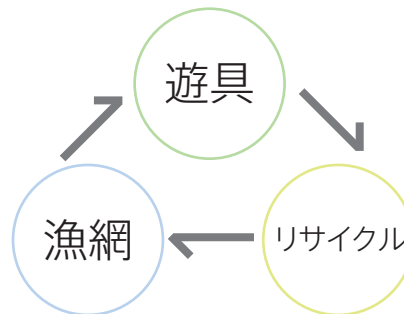


日比谷公園に永山祐子氏による アップサイクルした遊具が登場

株式会社ジャクエツ(本社:福井県敦賀市 / 代表取締役:徳本 達郎)と永山祐子建築設計が共同制作した廃棄予定の漁網を回収し、アップサイクルした糸を使用した遊具「はなのハンモック」が4月27日～5月12日に東京・日比谷公園で開催されるアートイベント「Playground Becomes Dark Slowly」に登場します。



【循環のデザイン】



はなのハンモック

花の海の上に浮かぶ大きなハンモックです。ハンモックの網は廃棄予定の漁網を回収し、アップサイクルした糸から作られています。四方を海に囲まれた日本では特に海洋ゴミによる海洋汚染、生態系への影響が問題となっており今回の会期終了後、網は廃棄魚網のリサイクル技術によって再び素材となります。そして一部は移設されるなど循環のデザインにのせていく試みです。ゆったりとハンモックに揺られ、花の香、陽の光や風を感じ、私たちの生活をとりまく自然環境に意識を巡らせてほしいという想いから生まれた作品です。

【イベント概要】

Playground Becomes Dark Slowly

会期: 2024年4月27日(土)～5月12日(日)
開館時間: 9:00～22:00 会場: 日比谷公園



夜のライトアップの様子

【永山祐子】



1975年東京生まれ。1998年昭和女子大学生活美学科卒業。1998年青木淳建築計画事務所勤務。2002年永山祐子建築設計設立。主な仕事に、「LOUIS VUITTON 京都大丸店」「豊島横尾館」「ドバイ国際博覧会日本館」「JINS PARK」「膜屋根のいえ」「東急歌舞伎町タワー」など。主な受賞歴に、JIA新人賞(2014)、World Architecture Festival 2022 Highly Commended(2022)、iFDesign Award 2023 Winner(2023)など。現在、2025年大阪・関西万博にて、パナソニックグループパビリオン「ノモノ国」と「ウーマンズパビリオン in collaboration with Cartier」(2025)、東京駅前常盤橋プロジェクト「TOKYO TORCH」などの計画が進行中。 <http://www.yukonagayama.co.jp/>

【株式会社ジャクエツ】

1916年創業。「未来は、あそびの中に。」をスローガンに、幼児施設向けの教材や遊具の製造販売をはじめ、園舎の設計施工や、近年は美術館などの公共施設や商業施設にも質の高いあそびの環境をデザインすることで、子どもの成長とともに大きく花開いていく「未来価値」を創造し続ける。

【ジャクエツHP】

<https://www.jakuets.co.jp/>

【お問い合わせ】

株式会社ジャクエツ
東京都港区高輪4丁目24-50
TEL: 03-3442-2260 / FAX: 03-3442-2261
MAIL: press@jakuets.co.jp
担当: 広報担当まで